

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき てい ない	でき てい ない	全 く でき てい ない		でき ている	ほ ぼ でき てい ない	でき てい ない	全 く でき てい ない	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	10	12	0	1	・職員各自がこぶし園の理念をしっかりと理解している。	9	7	0	0	・「自分自身が利用したい、友人家族にも利用してもらいたいサービスの構築」を基本理念に、対象者の生活の連続性を(24時間365日)を支援することを職員全体で目指していると感じる。 ・理念をしっかりと理解していると思う。 ・各職員の方が在宅生活の継続のために関わってもらっていると思う。 ・理念に対して評価しているのか？ ・「こぶし園」の理念ではなく、こぶし24時間ケアサービスステーションの独自の理念はあるのか？
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	6	14	2	1	・定期随時サービスの研修を7月に行い、改めてサービスの理解が深まった。 ・今年度、職員に対しての研修の機会がなかった。 ・内容の理解について不足している面もある。	4	10	0	0	・介護医療連携推進会議や研修を通じ、サービスの特徴や事業所の理念について学びを深める機会がある。今後も参加できなかった職員が共有出来るよう資料回覧だけでなく、伝達して欲しい。 ・今後も研修や事例検討を重ねて事業所が目指すものを皆が確認できるようにしてほしい。 ・定期随時の特徴や内容は認識されていると思う。 ・十分に理解されていると思う。導入時の利用者、家族への説明も丁寧にしてほしい。 ・全ての職員が理解するために、年1回の研修以外に実施している取り組みがあるのか？ ・上段で「研修を7月に行い…」と記入されているが、中段で「研修の機会がなかった」と記入がある。7月に行った研修は職員対象ではなかったのか？ ・内容の理解不足に関しては具体的にどのような点で理解不足があると感じているか具体的に提示してほしい。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	10	10	1	2	・法人内外の研修を計画している。 ・個別研修に力を入れ、職員個々の年度目標に添うよう、希望の研修に参加できるようにしている。 ・研修や実際の業務を通じて対応力の向上を図っている。 ・日々オペレーター間で話し合いをし、適切な状況判断が出来るようにしている。	7	8	0	0	・日々、多忙の中、研修への参加や研修参加後の周知は非常に大変であると思う。今後も是非質の向上の為に積極的な研修参加をお願いしたい。 ・研修に力を入れて技術向上を図っている。職員同士、お互いの技術を上げていこうと切磋琢磨する風土を今後も作って頂きたい。 ・会議の資料でも計画等あり、出来ていると思う。 ・新人職員の教育はどのようにしているか。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	5	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 限られた職員数での24時間勤務シフトのため、制限されることが多いが、極力配慮している。また、どの利用者の援助でも出来るよう指導しており、スキルアップに繋がっている。 難しいケースや初めての訪問では同行訪問により指導してもらっている。 能力以上のことを求められることがある。 	4	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 限られた職員数の中で24時間のシフトを組み一定の専門技術及び援助が出来るよう取り組んでいられることに頭が下がる思いがする。 同行訪問によって職員の技術レベルの均一化を図る努力をされている。 配慮されていると思う。 職員配置は大変な中、出来ていると思う。 能力以上はどのようなことか？ 能力以上の事を求められる事があった場合、どのように対処しているのか？能力は最大限引き出されるには管理者が職員をしっかり把握出来ていないと困難であると思う。普段、細やかに管理者と職員がコミュニケーションを取り、分からない事や不安な事を気軽に相談できる雰囲気作りが出来ていると思う。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	9	12	1	1	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを有効に活用している。 共に研修(感染症や医療関連)等を行っており、相互理解の場が設けられている。 看護師との勉強会は有効であるが、まだまだ個別対応まで話し合う機会が少ない。 	7	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 普段から、何かあるとタブレットだけに頼らず、話をするようにしているが、月に1回でも良いので個別事案をもっと密に話し合う場(例えばケース検討会等)があるとより共通理解がされ、ケアの質向上につながると思う。 タブレットにて状況や状態を知ることができ、その内容からも相互関係を深める助けになっている。直接お会いする機会は少ないので、今後、検討が必要と思う。 全ての記録がフェニックスネットにあがるのが、細かいと感じるケアマネもいる。 利用者の心身の変化など、フェニックスネットを通じて直に情報共有されていると思う。 タブレットを使用しているので共有化できていると思う。 タブレット以外、直接カンファレンスを行った方が有効である。そういう機会を増やしていけるか。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	11	9	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト変更は常に考えながら業務を行っている。 ・柔軟なサービスの提供は出来ているが、どのシフトにも入れる職員に限りがあり、人材不足を感じている。 ・時に訪問する職員を限定し、利用者ニーズに応じた対応がより良く出来るような配慮を行っている。 	10	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のニーズに応えられるよう、日々勤務調整をしながら頑張っている様子が伺える。限られ職員数の中、調整マネジメントが良く出来ていると思う。 ・ご利用者のご希望に応じてシフト変更を行う等の対応にご苦労されているかと思う。 ・柔軟なサービスの提供のために職員配置を考えて頂いており大変なご苦労だと思う。 ・頻繁な随時訪問に対応され利用者の安心安全に繋がっている。 ・人材配置はよく分かりませんが、きちんと行っていると思う。 ・スキルアップの方法？経験からの学習以外の方法はないか？
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	9	11	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な会となっており、地域の方や利用者からの要望は必ず取り入れている。 ・委員も多種多様なメンバーとなり、意見交流の場として有効。又、取り入れる努力をしている。 ・要望、助言があった場合は直に対応しより良いサービス提供に向け、改善に努めている。 ・推進会議の内容を職員に報告、評価し改善に向けている。 	13	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他の運営推進会議には見られない程、多種多様なメンバーの方が集まり、大変貴重な会であると感じている。参加人数が多く、限られた時間の中で全ての皆さんの意見を聞くには限界があると思うが、出来るだけ多くの出席者より多面的な意見を聞けると良いと思う。 ・この会議に出席させてもらい、こちら側もとても学ぶことが多く、ありがたく思っている。同一法人の他のエリアにもしなのの取組を報告する機会はあるのか？ ・地域住民、警察、消防等、委員のメンバーも多職種な為、より地域での課題等を検討できる場となっております。 ・会議で沢山の意見を引き出し、事業に反映させようと努めている。 ・会議で出た意見等に直に対応していると思う。 ・出来ていると思う。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]												
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備												
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	12	9	1	1	14	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護が欲しい情報が記載されていない等、タブレットだけでは共有しきれない部分がある。タブレットだけに頼らず必要に応じ、直接聞く事で利用者の現状と問題点を把握する事が出来ている。 ・フェニックスネット上で情報共有できていると思う。状態変化による提供時間帯の変更など、打ち合わせの提案は電話を頂くなど、方法は適切だと思う。 ・タブレットや電話等で連携でき、情報共有できていると思う。
(5) 安全管理の徹底												
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	11	10	1	1	8	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間帯の訪問には今後も気をつけて下さい。 ・訪問先、移動中など、災害時に一人で行動しなければいけない場面があるため、職員個々が自分の安全を確保するためにどう行動するか、研修を続けて下さい。 ・貴事業所の緊急体制等は把握していませんが、きちんと対策が講じられていると思う。 ・ヘルパー事業所としての災害時の行動マニュアルはあるのか？又、それはしなの・美沢・喜多町のヘルパーステーションで共有されているのか？
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	12	9	1	1	10	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一番の個人情報満載なのがタブレットであると思うが、タブレットの取り扱いに関するマニュアルはあるのか？どのような対策がとられているのか？ ・研修を通して個人情報保護の認識強化を図っている。 ・法律もあるのできちんとされていると思う。 ・紙ベースで持ち歩かなければならない時もあるが、どのような対策を講じているのか？(事前訪問など)

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	8	14	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の意向や生活に合わせて援助が行えているかという点に着目し、提案している。 ・ADL変化時、退院、更新時にアセスメントを行い見直している。 ・その方の要望や何気ない一言を会話の中で聞き取れるように援助を行っている。 ・利用者の生活に合わせた時間設定を行っているが、希望時間から時間調整が難しい所がある。 	4	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最も利用者に関わりを持ち、利用者の事を把握し理解しているのはヘルパーだと思います。ほんの少しの変化に気付き、それをどうアセスメントし、ケアの変更・追加に活かされるのかがケアの質の向上につながると思うので、今後も頑張ってください。 ・起床時間を利用者確認しながら援助に入ってもらっているので、本人も無理なく生活を送ることが出来ている。 ・アセスメントの方法は基準があるのか？
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	9	13	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にあセスメントがなされており、共有もできている。そこからケアに反映できるよう、お互いに発信していくことが大事である。 	5	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアセスメントとは月1回のアセスメント・モニタリングの事なのか？看護のアセスメント・モニタリングがヘルパーにどう反映されているのかよく分からない。 ・出来ていると思う。 <p style="text-align: center;"> 生活介護 看護医療 -3 -2 -1 0 1 2 3 </p>
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	8	14	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活を継続するためにやりすぎない援助が必要。最初から全て行うのではなく、状況を見て行っている。改善時には訪問を減らし、自立支援を目指している。 ・未来志向型は分からないが、自立に向けて計画作成されている。 	6	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな状況であっても自立支援を念頭に置いたケアが重要であると思う。本人に何が出来て、何が出来ないのかを見極める事が重要であり、見極めるには観察力とアセスメント力が必要になるので、それらの力が付くような研修があると良いかと思う。 ・今後も自立支援の考え方を大切に取り組んでほしいと思う。 ・出来ていることを続けられるよう、今後も適切な援助をお願いする。 ・計画は未来志向型なのかは良く分からないが、機能維持や在宅生活の継続に軸足を置いた計画だと思う。 ・やりすぎない援助とは、アセスメントはどうするのか？どの位で評価しているのか？

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない	全く できて いない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価 (Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	4	14	4	1	・現状に合わせ、リスクを見越した計画書の作成を行っている。 ・訪問看護へ変化時の報告や相談を行い、悪化しないよう早めの対応を心がけた。 ・変化を予測できるよう日々の観察が大切。 ・入院治療にならない様、早めの対応をしている。	5	11	0	0	・重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理はその利用者に関わる全てのサービスチームによって行われる物であり、看護だけでなく多職種連携が非常に重要になると感じる。 ・予測をし、行動対応することは大切だと感じる。今後も継続し取り組んでほしいと思う。 ・緊急時の連絡体制を、どのスタッフが訪問しても知っており、他の事業所等と連携を取られていると思う。 ・未来志向型かどうかは良く分かりませんが、訪問看護にも報告書を頂いている。双方の連携がとれ、計画もきちんとなっているが、それ以外の事業所と上手く連携がとれていない気もする。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し													
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	14	8	0	1	・体調変化に応じ適宜訪問を追加し、状態が悪化しない様努めた。 ・計画外であっても空き時間を利用し、生活援助を柔軟に行った。 ・状態に合わせて訪問回数を増やすなどの柔軟な対応を心がけている。 ・日々の日勤帯の業務シフトは利用者に合わせて対応している。	14	2	0	0	・限られた職員数の中で利用者の状態変化に対し、柔軟に対応して頂いている。調整が大変だと思うが今後も対応お願いしたい。 ・柔軟な対応をしていただいていることはとてもありがたい。 ・頻回に状況確認してもらい、情報をもらうことができています。 ・毎日の訪問の中で、少しの変化や利用者からの訴えに耳を傾けておられるので、早めの受診、早めの対応が出来ていると思う。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	8	14	0	1	・状態変化時には計画の変更を行った。 ・スタッフ間からも常に変化に対して声を出す姿があり、職員の利用者の変化に対する意識が向上したと思う。 ・毎月のモニタリングを行い、ケアマネと連携を取り、計画書に反映するようにしている。	9	7	0	0	・出来ていると思う。 ・変化に対する意識が向上した理由・背景は何か？状況変化に早期に気付く為の教育・研修があったのか？もし何かあるとしたら教えて頂けるとありがたい。 ・利用者の変化に早期に気付くケアに反映させていく事はケアの質の向上になるので、今後も継続して実施してほしい。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供													
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	8	14	0	1	・医療分野は制度により出来ないという事をしっかり認識出来ており、職員から声があがり、どちらで行うか話し合い柔軟に対応している。 ・タブレットによる情報伝達でそれぞれの専門性を生かした援助を行っている。	6	10	0	0	・医療分野のケアの実施云々の話ではなく、それぞれの職能の理解とそれぞれの職能が十分発揮されるケアの構築が必要であると思う。 ・出来ていると思う。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	9	13	0	1	・こちらからの依頼などには即対応してもらっており、看護の存在はこのサービスにとって大きなものと感じている。 ・看護からも直接依頼が来るようになり、連携がうまく始まっている。 ・必要時に助言をもらっている。日々の業務でも助言をもらっている。	8	8	0	0	・事務所が隣同士という利点を生かし、タブレットだけではなく、直接話をする機会を持つようにしている。互いの職能を理解しながら、助言をもらい合い、ケアに活かす事が出来ていると思う。 ・今後も相互で連携を図ってほしいと思う。 ・看護職、介護職の連携が良く行われているので、安心してサービス提供の依頼ができる。 ・看護職とカンファレンスをしていると思うので、そこで助言等もらっていると思う。 ・このサービスは看護の協力が不可欠だと思う。
10													
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	8	14	0	1	・契約時に十分な説明を行っている。 ・説明しているが、利用しているうちに趣旨が変わりそうになる事があるが、その都度ケアマネから説明を行ってもらっている。 ・状態が変化(改善・悪化)した場合、その都度訪問援助の追加・削減を検討している。その際、施設や病院と同じように援助の必要性に応じて援助内容や回数を調整するという定期随時サービス(定額制)の趣旨も説明している。しかし、状態改善や自立に至った場合でも訪問援助を削減するには時間を要している。	3	13	0	0	・様々な利用者、家族がおり、十分に説明したと思っても、実際は全く理解されていない事もある。適宜、説明を繰り返し、理解の確認をしていただけると良いかと思う。 ・利用開始時、丁寧に説明してもらっている。 ・サービスの特徴等、職員も十分理解できていると思う。 ・状態改善や自立に至った場合の訪問援助削減にはケアマネ他サービススタッフと共に検討していく事も良いと思う。又、総合事業への移行も共に検討できれば良いのではないかと。 ・サービスの説明は難しいと思う。「地域みんなで分かち合うサービス」、「その日、その時の必要度に応じてサービスの量・内容が変化するサービス」ということですか？第三者を交えて、繰り返し説明するしかないのでしょうか。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(4) 利用者等との情報及び意識の共有													
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	7	13	2	1	・契約時に大まかな計画を伝えている。 ・その後の計画書での説明では、だいたい分かっているという所での承諾が多いように感じる。 ・サービス利用開始時に利用者にもサービス内容を説明している。	3	13	0	0	・「だいたい分かっている」が後にトラブルの原因にもなりかねないので、十分な説明と確実な理解・認識を得るようお願いしたい。 ・計画は利用者からも同意を得なければならないのできちんとされていると思う。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	12	10	0	1	・変化があった時はその都度報告している。 ・自宅に連絡ノートがある場合はノートを利用し、ノートを見られない場合は電話で伝えている。 ・状況に合わせたサービス内容を相談している。	14	2	0	0	・状況に応じた報告がしっかりされていると思う。細かい連絡のやりとりによりヘルパーへの信頼も増すと思う。 ・家族との連絡方法は適切に行えていると思う。 ・出来ていると思います。 ・家族への安心になっていると思う。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	11	11	0	1	・基本はケアプランに準じているので、しっかりと担当者会議や契約時で共同で計画している。 ・変化がある時は状況を報告し、共有している。	11	5	0	0	・ケアプランに乗っ取った提供時間・内容が実施出来ていると思う。多忙の中、なかなか援助に入れない時間帯があり、その点を十分に説明し利用者、家族に納得してもらっていると思う。 ・状態の変化を報告して頂き、状態を共有できていると思う。 ・時間調整が難しい中、担当者会議へ参加してもらっている。 ・出来ていると思います。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	9	11	2	1	・状況に応じて援助内容や訪問頻度等の提案を行っている。定期随時サービスとして対象では無いものについては他のサービスを提案している。 ・積極的に提案しているとは言えない。	4	11	1	0	・状態の変化を報告して頂き、状態を共有できていると思う。 ・本当に必要と思われる時に提案していると思う。 ・すべてのケアマネを通す必要があるか。細かい要求が利用者からあると思われる。その対処方法はどうか。 ・他のサービスの提案とはどんなサービスなのか？ ・「積極的に提案しているとは言えない」のは、社会資源に関する知識や情報がない事が原因なのか？提案したら悪いような気がすると言った遠慮が原因なのか？原因を明らかにし改善できるように対処して頂きたいと思う。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	14	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 各職種それぞれ専門的な視点での情報を持ち合うため、介護職としては在宅での様子が一番理解できている分、その情報を提供し、ケアに反映できる様に努めている。 多職種による専門的な意見も参考になっている。 	15	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 質の高いケアを提供する為には多職種連携の基、共通目標に向けそれぞれの職能が十分発揮できる事であると思う。ヘルパーは利用者の在宅生活を理解している分、問題点・改善点も明確化できると思う。積極的に情報を発信していただける事で多職種のケアの参考になり、更に利用者理解を深め、目標達成の手掛かりにつながると思う。 今後も担当者会議での情報提供、提案をお願いしたい。 出ています。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	4	9	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 全てが定期随時のサービスでサポートするのではなく、限界もあるので、代替出来そうなものがあれば、提案している。例:調理→配食弁当、買物→家族、ゴミ捨て→ふれあい収集等) 利用者からの要望に対して事業所以外で対応できるものがあれば提案している。 	4	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 包括的なサポートをするためには社会資源に関する知識や情報がないと出来ないと思う。社会資源に関する研修を実施出来ると良いと思う。 代替出来そうな情報もよく収集されていると思う。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	4	9	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 退院カンファレンスにも参加(ケアマネから連絡があった場合)し、直接様子を確認し自宅へ戻れる様、サービスを検討している。 入院、入所時にはこちらから直接連絡することはほぼ無かった。 	3	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 退院の時の情報は家族からのことが多い。家族がいない時の入院時の情報はしばらくして知ることが多い。 退院カンファレンスの情報はどの様に活かして在宅生活へ結び付けているのか? 退院カンファレンスに参加する事で、在宅生活のスムーズな開始につながっている。ショートステイ等利用時の状態等どのように情報を収集しているのか?「入院・入所時には直接連絡する事はほぼなかった」とありますが、その原因は何か?原因を明確化し改善していただけると良い。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)	4	9	0	1	・介護医療連携推進会議等で全体的な方向性や地域生活に必要なサービスなど検討している。また、担当者会議等でも共有している。 ・医療と介護の分野での分担はサービス内容により検討している。	5	9	0	0	・介護と医療の分担はサービス内容による検討ではなく、背景にある問題と身体的状況により異なるので、内容だけでの分担ではないと思う。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案													
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	14	8	0	1	・会議後、会議録は数日内にまとめ、閲覧できるようにしている。 ・会議録を閲覧できることをなど情報発信していることも伝え、見てもらうようにしていくことが必要。 ・会議録等はタブレットに入力され、職員は確認できるようになっている。	13	3	0	0	・出来ている。 ・会議録等の閲覧をしたという確認はどのようにしているのか？
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	13	9	0	1	・適宜、対象者(年齢層等)に合わせ、広報活動は行った。 ・実施回数や範囲を広げていく必要がある。 ・高齢者センターで定期随時サービスを紹介する寸劇を行った。	8	8	0	0	・多忙な業務の中、積極的に啓蒙活動を実施されていたと思う。定期巡回はまだ新しいサービスなので、住民等の理解が根付くには相当の時間がかかると思うが、今後も啓蒙活動の実施を期待する。 ・広く地域に自ら発信していく取り組みを今後も期待する。 ・広報活動や寸劇等を工夫されている。 ・劇を行ったりときちんとされている。 ・楽しい劇をまたしてほしい。 ・企画力はとてもすばらしいと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない	全く できて いない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画													
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	6	14	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年改定もあり、今後もしっかりと確認していくと共に、その事を職員にも伝達していく必要がある。 職員によって認識のばらつきがあるように感じる。 	1	15	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 行政の地域包括ケアシステム構築に掛かる方針や計画は自ら積極的に情報を求めないとなかなか情報は手に入らないと思う。管理者だけでなく、リーダー、サブリーダー、サ責も是非積極的に情報を仕入れ発信していただけたらと思う。 包括ケアシステムは難しく、理解するまでには時間もかかると思う。法人のトップとの会議だったり法人の今後の考え方等も分かるので、個人でも事業所でもアンテナを張らないといけないと思う。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	12	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域に展開している。 喜多町にヘルパーステーションを開設させ、サービス提供エリアを広めることが出来ている。 	9	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 喜多町にヘルパーステーションが開設され、提供エリアの拡大は順調に出来ている。今後も定期巡回の拡大は期待されるが、人員の確保が一番の課題であると感じる。 エリアが広がり良かったと思う。 劇を行ったりして周知を広くしていると思う。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	5	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 1事業所だけで安心したまち作りを行うのは不可能なため、介護医療連携推進会議等において、委員と共に考えている。 事業所での取り組みに理解をいただき、その中で何か手伝ってみようと思ってもらえる様、関係作りを継続していくことが大事。 個人的には広い視野を持って活動できているとは言えない。 	4	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> しなのは運営推進会議に他に類を見ない程多職種が参加しており、会議を通じ情報の共有・ネットワークが構築しやすくなっている。更に関係性を深め、強いつながりが出来ると良い。 安心して暮らせるまち作りに向けた取り組みを今後も期待する。 連携推進会議を上手く活用されていると思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できて いる	ほ ぼ で き て い る	で き て い な い	全 く で き て い な い	できて いる	ほ ぼ で き て い る	で き て い な い	全 く で き て い な い		
事業所コメント				外部コメント									
Ⅲ 結果評価 (Outcome)													
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	10	⑫	0	1	・計画目標は毎月達成度合いを確認、評価している。 ・良好になり、改善されている方もいることがやりに感じている。 ・それぞれ目標達成に向けて変化が見られる。	4	⑪	1	0	・サービスが入る事により利用者の生活の質が向上し、在宅生活が継続できる事はヘルパーにとっても仕事のモチベーションになると思う。ヘルパーのケアの質が高ければ、おのずと生活の質もあがりため今後も質の高いケアの提供を期待する。 ・生活の維持が主になっているため、なかなか目標には至らないケースが多いと思うが、達成に向けて評価等もされている。 ・サービスの限界を何処にするか難しい。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	⑬	9	0	1	・アンケート調査でも満足している回答をいただいている。 ・何でもする介護ではなく、自立に向け、必要なことを行う介護を基本とし、在宅生活を継続できる様、今後も目標として進めていきたい。 ・このサービスがあつて良かったとの意見が聞かれ、安心して生活できると、自宅で生活できることを喜んでいられる。	⑩	6	0	0	・「定期巡回があつて良かった」「ヘルパーさんに来てもらって助かっている」と言うお話しは訪問中にもよく耳にする。ヘルパーの存在は在宅生活継続には絶対的な物であり、その点に自信と誇りを持ち業務に当たっていただきたいと思う。 ・在宅生活の継続を可能にするには欠かせないサービスの一つであると認識している。今後ご利用者、ご家族、地域の方々の期待にこたえるべく、一層のご活躍を祈念する。 ・サービスの特徴を生かし、自宅で望む暮らしが実現できるよう、今後もサポートをお願いします。 ・日に何回も訪問してくれたりしているので、安心感は得られていると思う。 ・他のサービスと組み合わせると達成感があると思う。